

申告書の書き方

(令和7年1月1日から12月31日までの収入状況を申告してください。)

* [] の部分には何も記入しないでください。

提出期限は、2026年4月10日(金)です。

1【住所・世帯主氏名欄】
住所・世帯主名・連絡先を記入してください。

(あて先) 長崎市長			
現住所	長崎市 魚の町 丁目 4 番(地) 1 号		
フリガナ	コクホ タロウ	自宅	822-8888
世帯主氏名	国保 太郎	電話番号	
個人番号	123456789123	携帯	
		勤務	829-1226

*確定申告等の控除対象配偶者・被扶養者等は国保税の申告が必要です。(この書類の提出が必要です)
※「申告区分」のア～エに該当しない場合は4-①～4-⑥の欄に金額を記入してください。

2【昨年の職業欄】
大学名を記入してください。

NO.	国保整理番号 世帯主との続柄 生年月日	2 令和6年中の職業又は勤務先	3 申告区分 ※下記ア～イの該当するものに○をつけてください。 ア.確定申告・市県民税申告済(月日) イ.公的老人年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)	4-①給与収入金額 ※専従者給与は記入しないでください。(4-⑤欄に記入)	4-②事業所得及び その他の所得金額 (円)	4-③専従者控除額 ※事業主のかたで控除を受けた金額を記入 (円)	4-④公的年金 収入金額 ※遺族・障害年金を除く(円)
				ア.確定申告・市県民税申告済(月日)	イ.公的老人年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)	ア.確定申告・市県民税申告済(月日)	イ.公的老人年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)
1	国保 太郎 平成 14 年 10 月 9 日	世帯主 ○○大学	ア.確定申告・市県民税申告済(月日) イ.公的老人年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)	867,500			
2			ア.確定申告・市県民税申告済(月日) イ.公的老人年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				
3			ア.確定申告・市県民税申告済(月日) イ.公的老人年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				
4			ア.確定申告・市県民税申告済(月日) イ.公的老人年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				
5			ア.確定申告・市県民税申告済(月日) イ.公的老人年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				
6			ア.確定申告・市県民税申告済(月日) イ.公的老人年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				
7			ア.確定申告・市県民税申告済(月日) イ.公的老人年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				

4-⑥譲渡所得記入欄(土地・建物などの売却した場合)

氏名	物件の所在地	収入金額	必要経費	差引金額	特別控除
	(居住・非居住)	円	円	円	円
	(居住・非居住)	円	円	円	円
	(居住・非居住)	円	円	円	円

記入不要

注 この申告書は、前年に収入がなかった場合や遺族年金・障害年金等の課税対象にならない収入(非課税収入)のみを受給されていた場合も提出する必要があります。(申告区分のエに○を記入)
※無収入・非課税収入の証明書を添付する必要はありません。

所得の証明書がとれないかたは裏面の計算書もご記入ください。

4-①【給与収入金額欄】
アルバイトにより給与収入があつた方は、1年間の総収入金額を記入してください。

※裏面もご覧ください。

所得が把握できないと、国保税の減額の特例が受けられません。